

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 04 22	中期総合計画主要施策番号	2-03、3-13	担当課	部・課	農政部園芸畜産課	
事業名	口蹄疫等家畜伝染病危機管理体制強化事業				内 線	3175	
					E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H23	～	H23	根拠法令等	家畜伝染病予防法		
実施方法	県が直接実施					国庫・県単	国庫補助事業

事業の概要等	目的 (必要性)	・平成22年4月に宮崎県で発生した口蹄疫が感染拡大した要因に、初動防疫の遅れと人や車両によるウイルスの伝播が指摘されている。 ・病性決定後24時間以内の殺処分及び72時間以内の埋却等迅速な初動対応が求められている。					
	対 象	行政機関及び家畜所有者並びに畜産関係機関					
	目指すべき姿	・口蹄疫等家畜伝染病の侵入防止対策の徹底。 ・病性決定後24時間以内の殺処分及び72時間以内の埋却の実施。 ・迅速なまん延防止。					
	事業内容	・実践的防疫演習の実施 ・迅速な防疫措置計画の作成やまん延防止対策の実施に必要な農家情報の収集整理 ・迅速な防疫措置を可能とする防疫マニュアル及び機器の整備					

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)		千円	-	14,177	-	
	決 算 額 (B)		千円	-	13,194	-	
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	-	1,738	-	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	-	1.00	-	
	概算人件費 (C)		千円	-	8,258	-	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	-	21,452	-	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	防疫演習実施数(活)	回	-	13	-	
	農家情報データベース対象戸数(成)	戸	-	2,636	-	
	防疫対策マニュアル(活)	件	-	5	-	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 農家情報データベース対象戸数	千円/戸	-	8.14	-	

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	・実践的防疫演習の実施(2回) ・県内全農家の情報の収集と整理(1,500戸) ・防疫マニュアルの整備(口蹄疫及び鳥インフルエンザ) ・サーモグラフィ(2台)及び動力噴霧機(4台)の整備による迅速な防疫措置の準備 ・家畜保健衛生所のバイオセキュリティの向上(2カ所)			・実践的防疫演習を13回実施 ・畜産農家データベースを構築し、2,636戸の情報を整理 ・防疫対策マニュアル(口蹄疫及び鳥インフルエンザのマニュアル及び事例集等)を5種類作成 ・サーモグラフィ2台、動力噴霧機4台を整備 ・松本及び飯田家畜保健衛生所のバイオセキュリティ設備の整備			a 期待以上

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 (完了)	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	県や市町村等の担当者も異動等により代わってしまうため、この事業で作成したデータベースやマニュアルを活用し、引き続き防疫演習等を実施し、危機管理体制の強化を図っていく。
	特記事項	